



(題字 時澤 貢 学長)

第432号
(平成12年12月号)

12月のトピックス

◇ 6日 学長主催の外国人研究者及び留学生との懇談会を開催



△ 留学生らが時澤学長を囲み「ヤングマン」を合唱

目 次

関係法令	3	◆ 事務職員啓発セミナー（第2回）を開催	8
諸 会 議	4	◆ 教育学部が自衛消防訓練を実施	8
学 事		◆ 理学部が初の外部評価委員会を開催	9
◆ 平成12年度科学研究費補助金交付決定者 一覧	5	◆ 学内レクリエーション「卓球大会・バドミ ントン大会」	10
◆ 学位取得	6	◆ 表彰	11
◆ 経済学部が高岡短期大学と単位互換協定 を締結	6	◆ 海外渡航者	12
人 事 異 動	7	◆ 外国人来訪者	13
学 内 諸 報		職 員 消 息	
◆ 五福キャンパスの構内一斉清掃を実施	7	◆ 住所変更	13
◆ 外国人研究者及び留学生との懇談会を開催	7	◆ 新任者 所	13
		◆ 訃報	13
		主 要 行 事	14

関 係 法 令**(法 律)**

- 高度情報通信ネットワーク社会形成基本法 (144)
(平成12.12.6 官報号外第249号)
- 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律 (147)
(同上)

(政 令)

- 行政機関職員定員令等の一部を改正する等の政令 (496) (平成12.12.6 官報号外第249号)
- 著作権法施行令の一部を改正する政令 (504) (平成12.12.8 官報号外第251号)
- 独立行政法人教員研修センター法の施行に伴う関係政令の整備及び経過措置に関する政令 (507) (同上)
- 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律の一部の施行期日を定める政令 (518) (平成12.12.15 官報第3017号)

(中央省庁等改革推進本部令)

- 文部科学省定員規則 (中央省庁等改革推進本部109)
(平成12.12.22 官報号外第261号)

(省 令)

- 日本育英会の第1種学資金の返還を免除される職を置く研究所等の指定に関する省令の一部を改正する省令 (文部55) (平成12.12.28 官報第3026号)

(規 則)

- 人事院規則10-4 (職員の保健及び安全維持) の一部を改正する人事院規則 (人事院10-4-9) (平成12.12.15 官報第3017号)
- 人事院規則15-15 (非常勤職員の勤務時間及び休暇) の一部を改正する人事院規則 (同15-15-3) (平成12.12.25 官報第3023号)

- 人事院規則17-0 (管理職員等の範囲) の一部を改正する人事院規則 (同17-0-60) (同上)
- 人事院規則14-8 (営利企業の役員等との兼業) の一部を改正する人事院規則 (同14-8-3) (平成12.12.26 官報第3024号)
- 人事院規則9-6 (俸給の調整額) の一部を改正する人事院規則 (同9-6-41) (平成12.12.28 官報号外第267号)
- 人事院規則9-17 (俸給の特別調整額) の一部を改正する人事院規則 (同9-17-79) (同上)
- 人事院規則9-55 (特地勤務手当等) の一部を改正する人事院規則 (同9-55-52) (同上)
- 株式所有等により営利企業の経営に参加し得る地位にある職員の報告等 (同14-21) (同上)
- 人事院規則16-0 (職員の災害補償) の一部を改正する人事院規則 (同16-0-28) (同上)
- 人事院規則16-3 (災害を受けた職員の福祉事業) の一部を改正する人事院規則 (同16-3-30) (同上)
- 人事院規則16-4 (補償及び福祉事業の実施) の一部を改正する人事院規則 (同16-4-20) (同上)
- 人事院規則22-0 (倫理法の適用を受けない非常勤職員) の一部を改正する人事院規則 (同22-0-1) (同上)

(告 示)

- 標準電波の周波数に関する件の一部を改正する件 (文部・通産1) (平成12.12.6 官報第3010号)
- 文部科学省の所管に属する船舶に関し、船舶所有者が行う手続きについて、文部科学大臣の代理官を指定した件 (総理・文部1) (平成12.12.11 官報第3013号)
- 中央省庁等改革のための文部省告示の整備等に関する告示 (文部181) (平成12.12.11 官報第3013号)

**第5回国立大学の設置形態に関する検討特別委員会**

(12月1日)

(審議事項)

- (1) 「国立大学の法人化について（東京大学国立大学制度研究会）」の検討について

第6回富山大学の在り方に関する検討特別委員会

(12月1日)

(審議事項)

- (1) 自己点検評価報告書の分析（教育活動面）について

第3回広報委員会（12月5日）

(審議事項)

- (1) ホームページ運用要項（案）について
- (2) 広報委員会が所管するホームページについて
- (3) 情報公開法に関する具体的対応策について
- (4) 地域向け広報誌について
- (5) 学内向け広報紙について

第8回事務協議会（12月12日）

(協議事項)

- (1) 第10次定員削減について
- (2) 事務情報化実施計画について

第10回部局長会議（12月15日）

(審議事項)

- (1) 教員人事の活性化の方策について

第12回評議会（12月15日）

(審議事項)

- (1) 教育研究基盤校費の配分方針について
- (2) 第10次定員削減について

第8回大学教育委員会（12月18日）

(審議事項)

- (1) 平成13年度入学生オリエンテーションについて
- (2) 教養教育副実施機構長の推薦に関する手続きについて
- (3) 平成11年度自己点検評価報告書における「改善を

必要とする重点事項」の検討について

第2回附属図書館運営委員会（12月18日）

(審議事項)

- (1) 特別図書を選定について
- (2) 平成11年度自己点検評価報告書における「改善を必要とする重点事項」の検討について

第6回入学試験実施委員会（12月20日）

(審議事項)

- (1) 入試情報開示について
- (2) 採点専門委員会委員について

第3回学生相談連絡会議（12月20日）

(審議事項)

- (1) 学生相談体制について

第9回学生生活委員会（12月21日）

- (1) 学生団体の書類送付について
- (2) 平成13年度入学生行事日程（案）について
- (3) 学内向け広報紙の委員選出について

第6回国立大学の設置形態に関する検討特別委員会

(12月22日)

(審議事項)

- (1) 「国立大学の法人化について（東京大学国立大学制度研究会）」の検討について

第7回富山大学の在り方に関する検討特別委員会

(12月26日)

(審議事項)

- (1) 自己点検評価報告書の分析（教育活動面）について

第9回富山大学の将来計画に関する検討特別委員会

(12月26日)

(審議事項)

- (1) 中・長期計画の検討について

第 4 回国際交流委員会 (12月26日)

(審議事項)

- (1) 平成13年度国際交流活性化推進事業実施計画について
- (2) 河南師範大学 (中華人民共和国) 及びコロラド大

学ポールダー校との大学間学術交流協定について

- (3) 平成11年度自己点検評価報告書における「改善を必要とする重点事項」の検討について
- (4) 遼寧大学との学生交流に関する実施細目について



平成12年度科学研究費補助金交付決定者一覧

研究種目	研究代表者			研究課題	交付決定額	
	所属	職	氏名		平成12年度	平成13年度
基盤研究(C)(2)	理学部	助教授	小田島仁司	赤外レーザーの差周波発生による THz 領域における高分解能分光計の開発	千円 2,500	千円 700
〃	理学部	助教授	笠原 一世	固相抽出を利用する環境試料水の迅速・簡便なオンサイト分析法の開発に関する研究	2,300	800
萌芽的研究	理学部	助教授	鈴木 炎	液体金属のレーザー誘起ブレイクダウン分光と非線形光学的応用	1,000	800

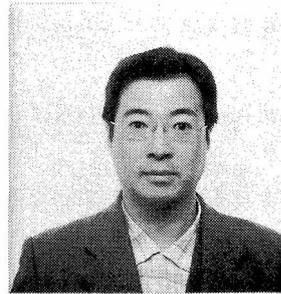
学 位 取 得

所属・職・氏名 人文学部教授 前 川 要
 学位の種類 博士（歴史学）（名古屋大学）
 取得年月日 平成12年12月5日
 学位論文名 日本中世集落史の考古学的研究
 —都市性の成立と展開を中心として—

論文の要旨

本研究においては、日本国内における考古学からみた中世、つまり12世紀なかばから16世紀末までの都市や村落など集落の様相、窯業生産と生産品の流通機構、便所遺構の様相などをみることによって、中世集落における都市性の成立と展開を中心に検討した。分析の結果、3段階5小期に区分できることが判明した。政治権力下のイエ支配強化の中で、村落の中から、あるいはイエ支配以外の無縁の空間から都市性が表出してくると想定した。特に、中世後期の政治体制を「方形館体制」と呼称して、その政治秩序の一端を明の冊封体制下の天命思想や華夷秩序の中に見出した。さらに、空間分離から都市性が析出することに関連して、中世の象徴二元性についても論及した。

地域社会における都市性の出現は、中世集落第1段階(b)期のおよそ13世紀後半から14世紀代に見られる第1次集村と中世集落第2段階(a)期の14世紀末から15世紀前半頃の第2次集村という、社会現象の中に段階的に位



置付けた。短冊形地割は、計量的分析の結果、2類型存在することが判明した。各段階においてそれぞれ「草戸型短冊形地割」、次に「一乗谷型短冊形地割」が成立してくる地域がある。集村の主要因は、それぞれ、農業経営形態の変化と政治権力を想定した。

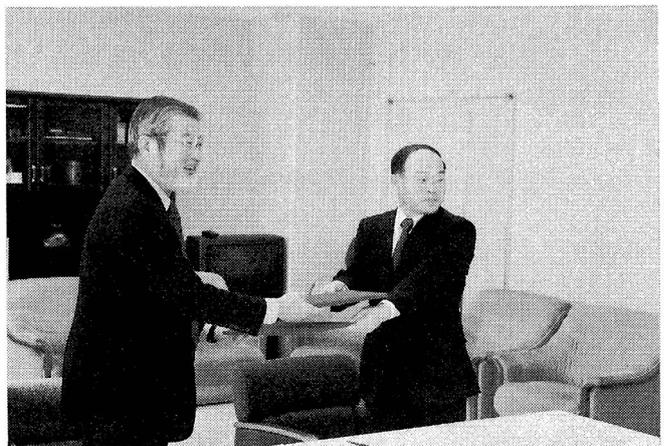
結語では、上記の論点の東アジア史的あるいは中世史の上での位置付けを試み、以下の2点を提示した。先ず琉球におけるグスク体制と同様、「方形館体制」も、華夷秩序を示す明の冊封体制下の影響下で、ヒエラルヒーを形成して、明と同様、商工業者の凝集を示す短冊形地割も政治体制の最下層で階層分化の結果、成立してきたと想定した。次に、中世の象徴二元性社会を提唱した。土師器皿の大量廃棄や会所や庭が衰退していく現象を、二元的中世的秩序を打破してヒエラルヒーの近世的和様化再編を志向したためと考えた。その象徴が近世城下町の初源的形態を示す安土城下町であったと理解した。

経済学部が高岡短期大学と単位互換協定を締結

12月22日(金)、経済学部と高岡短期大学との単位互換に関する協定の調印式が経済学部長室で行われました。

式では、両大学関係者が見守る中、蠟山昌一高岡短期大学長並びに古田俊吉経済学部長が協定書に署名しました。

経済学部としては、昭和49年から実施している滋賀大学経済学部との単位互換に続き、2例目となります。滋賀大学経済学部との単位互換が一部の科目に限られていたことに対し、今回の協定内容は、互いの専門科目を30単位まで取得できるようにするなど、講義の選択機会が広がられています。これにより、学生交流の広がりも期待されます。



▲ 協定書を取り交わす蠟山高岡短期大学長（左）と古田経済学部長（右）

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容
採 用	12. 11. 15	吉野由紀子		事務補佐員（人文学部・理学部）
昇 任	12. 12. 1	黒澤 信幸	助 手 名古屋大学 大学院医学研究科	助教授 工学部 (物質生命システム工学科生命工学)
辞 職	12. 11. 14	田村 真紀	事務補佐員（人文学部・理学部）	辞 職

学 内 諸 報

五福キャンパスの一斉清掃を実施

12月1日（金）、本年度2回目の五福キャンパスの一斉清掃が実施されました。

この清掃は、「教育研究の場にふさわしい学園環境の維持」を目的として、毎年2回実施しているもので、今回も教職員、学生に呼び掛けて、全学一斉に行われました。

当日は、肌寒い中、時澤学長をはじめとして坂田事務局長ら教職員、学生約300人がキャンパス内の空き缶や紙くず拾い、溝の清掃や落葉の片づけ等を行い、心地良い汗を流しました。



▲ 黒田講堂周辺を清掃する教職員

「外国人研究者及び留学生との懇談会」を開催 －340人が国際交流の進展を願い、和やかに懇談－

12月6日（水）、「学長主催による外国人研究者及び留学生との懇談会」が市内のとやま自遊館において開催されました。

会場には、時澤学長はじめ能登谷、小澤の両副学長、塩澤留学生センター長、各部局長、国際交流委員会委員、各指導教官、留学生担当職員と本学に在籍する中国、マレーシア、ロシア、韓国など19ヶ国の外国人研究者、教員、留学生及び日頃留学生がお世話になっている日本語課外補講の講師、とやま国際センター、富山県婦翔会、五福学生アパート組合関係者等約340人が出席しました。

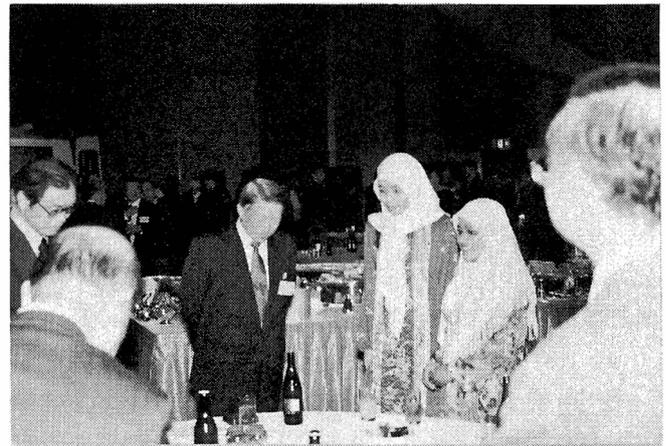
懇談会では、はじめに時澤学長から、この懇談会を機会に教職員と留学生等がお互いの文化を理解し、国際交流の一層の促進を図って欲しい旨の挨拶があり、続いて宮下工学部長の発声により乾杯し、懇談に入りました。

アトラクションでは、先般東京で開催された「国際民族舞踊フェスティバル」に出演した留学生等から、こきりこ節のささら踊りと手踊り、麦屋節の笠踊りが披露され、続いて、吹奏楽部の演奏、ロシアの踊り、中国の歌、台湾の歌と踊り、韓国の踊り、マレーシアの踊りなどが

次々と披露されました。

留学生が母国の民族衣装をまとって、多彩な歌や踊りを発表するたびに、会場は国際色豊かな華やいだ雰囲気でも盛り上がりました。

終わりに、恒例の学長を囲んでの合唱と参加者全員による踊りが行われた後、能登谷副学長から閉会挨拶があり、盛会のうちに懇談会を終了しました。



▲ マレーシア人留学生と懇談する時澤学長

事務職員啓発セミナー（第2回）を開催

12月19日（火）、事務系職員を対象とした平成12年度事務職員啓発セミナー（第2回）が黒田講堂において開催され、事務職員約70人が出席しました。

このセミナーは、事務職員として大学を取り巻く現状を把握し、これからの大学運営等に資するとともに、行政的識見を涵養し意識の高揚を図るために5つのテーマを企画、順次開催されています。

第2回目は、笹川郁夫附属図書館事務部長がパワーポイントを使って「情報化時代に向けて」と題し1時間余の講義を行いました。

講義は、情報技術の歴史的アプローチにはじまり、情報技術の効用・課題等の現状分析や情報システムの今後に関して、附属図書館での実例を交え説明がありました。

講義終了後、本学の情報化推進について熱心な質疑応

答があり、非常に有意義なセミナーとなりました。なお、次回セミナーは、「企業会計について」（講師 経済学部 榊原英夫教授）が予定されています。



▲ 講義中の笹川事務部長

教育学部が自衛消防訓練を実施

教育学部では、12月20日（水）午後2時40分から教育学部第3校舎を中心に、自衛消防訓練を実施しました。

教職員42人、学生66人の合計108人が参加し、第3校舎から音楽棟裏駐車場への避難訓練、富山消防署への通報を含めた通報連絡訓練、消火器を用いた消火実地訓練、火災報知設備・非常放送設備の説明会を行いました。

今回は、多数の学生が避難訓練に参加し、第3校舎の教官が消防隊の避難救護班や消火班としてのそれぞれの役割を確認し、また、消火実地訓練では、多くの女子学生が実際に消火器を使用するなど、大変有意義な訓練となりました。



▲ 消火訓練を行う教育学部生

理学部が初の外部評価委員会を開催

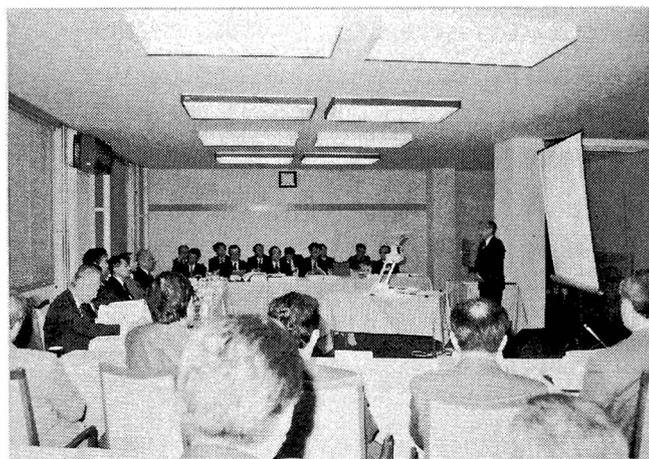
理学部は、工学部、人文学部に続いて、学部及び大学院理工学研究科博士前期課程（理学系専攻）の教育と研究活動についての外部評価を実施しました。12月1日（金）～12月21日（木）にかけて14人の外部評価委員を招き、6学科のヒアリングを行い、12月22日（金）には荻上紘一委員長（東京都立大学総長）他5人の外部評価委員が学部全体の事項についてヒアリングを実施しました。

12月22日（金）開催の外部評価委員会では、学部関連施設及び研究施設等を視察した後、関係教官が学部の教育理念と目標、将来構想、教育研究活動、教育組織と管理運営体制、社会との連携、施設整備・安全管理等について説明しました。その後、質疑応答に入り、外部評価委員と廣岡理學部長をはじめ関係教官19人が忌憚のない意見交換を行いました。

各委員からは、「恵まれない環境に関わらず、研究面では国際的に高いレベルにある。それをもっと外部にP

Rすべき。」「地域との連携をもっと重視し、理科嫌いの生徒をなくするよう努力して欲しい。」等貴重な意見、提言が寄せられました。

理学部では、外部評価の結果を報告書としてとりまとめ、今後の教育研究活動及び学部運営に資することとしています。



▲ 外部評価委員会の模様

学 内 レ ク リ エ ー シ ョ ン

卓球大会－工学部・図書館合同チームが優勝－

平成12年度学内卓球大会が、12月1日（金）本学第二体育館で開催されました。

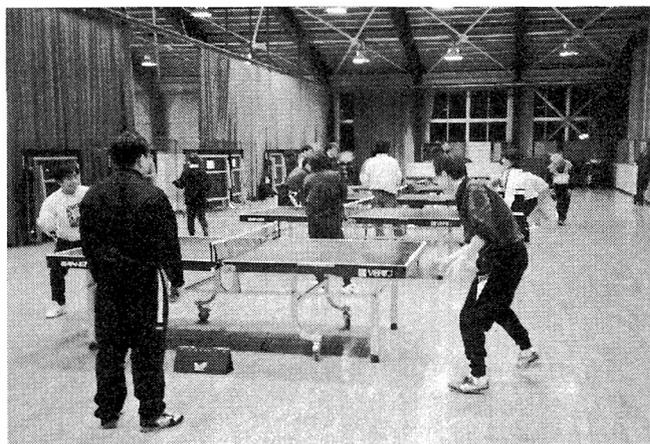
本大会は、残念ながら、参加チームは3チームと少なかったのですが、白熱した試合が繰り広げられ、参加者は初冬の寒さを忘れて心地よい汗をかいていました。

なお、成績は次のとおりです。

☆優勝 工学部・図書館チーム

☆次勝 混合チーム

☆3位 経理部・施設課チーム



▲ 大会の様様

バドミントン大会－学生部チームが優勝－

平成12年度学内バドミントン大会が、12月9日（土）第一体育館で開催されました。試合は団体戦で行われ、まず6チームが2グループに分かれて予選リーグを戦い、その後各グループの1位チームが決勝戦、2位チームが3位決定戦、3位チームが5位決定戦を行い、白熱した試合が繰り広げられました。その結果、学生部チームが見事優勝しました。

なお、入賞チームは次のとおりです。

☆優勝 学生部チーム

☆次勝 人文学部・理学部・図書館チーム

☆3位 教育学部チーム



▲ 大会の様様

表

彰

◎富山大学合唱団が第53回全日本合唱コンクール全国大会において銅賞を受賞

11月25日（土）、札幌市の札幌コンサートホール Kitara で開催された第53回全日本合唱コンクール（全日本合唱連盟、朝日新聞社主催）において、大学部門に2年連続出場した富山大学合唱団が銅賞に輝きました。

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
外国出張	工学部	教授	坂上岩太	オーストラリア	2000Asia-Pacific microwave Conference に出席, 研究発表	12.12.1 } 12.12.7
	教育学部	助教授	鼓みどり	イタリア	現地調査, 研究資料収集	12.12.2 } 12.12.11
	教育学部	教授	浅沼照雄	カナダ	カナダ数学学会冬期大会代数幾何学部門に出席, 研究発表	12.12.5 } 12.12.14
	工学部	教授	升方勝己	中国	パルス電力技術及び高エネルギー密度プラズマに関する共同研究打合せ	12.12.9 } 12.12.16
	工学部	助教授	山本健市	タイ	First Asian Particle Technology Symposium (APT2000) に出席, 研究発表	12.12.11 } 12.12.16
	工学部	教職員	宮嶋俊明	タイ	First Asian Particle Technology Symposium (APT2000)に出席, 研究発表	12.12.11 } 12.12.16
	工学部	助手	喜久田寿郎	香港	AMF-3 に出席, 研究発表	12.12.11 } 12.12.18
	工学部	教授	杉本益規	タイ	First Asian Particle Technology Symposium (APT2000) に出席, 研究発表	12.12.11 } 12.12.16
	理学部	助教授	宮澤眞宏	アメリカ合衆国	2000年環太平洋国際化学会議に出席, 研究発表	12.12.12 } 12.12.16
	教育学部	教授	佐藤幸男	マダガスカル	調査・研究資料収集	12.12.12 } 12.12.19
	理学部	助教授	樋口弘行	アメリカ合衆国	環太平洋国際化学会議に出席, 研究発表, 研究打合せ	12.12.12 } 12.12.19
	工学部	教授	長谷川 淳	アメリカ合衆国	環太平洋国際会議 (Pacifichem 2000) に出席, 研究発表	12.12.13 } 12.12.21
	工学部	教授	鈴木正康	アメリカ合衆国	環太平洋国際化学会議 (Pacifichem 2000) に出席, 研究発表	12.12.13 } 12.12.19
	工学部	教授	黒田重靖	アメリカ合衆国	環太平洋国際化学会議 (Pacifichem 2000) に出席, 研究発表	12.12.13 } 12.12.19
	工学部	助教授	蓮覚寺 聖一	アメリカ合衆国	環太平洋国際化学会議 (Pacifichem 2000) に出席, 研究発表	12.12.14 } 12.12.21
	機器分析センター	助教授	中村優子	アメリカ合衆国	環太平洋国際化学会議 (Pacifichem 2000) に出席, 研究発表	12.12.14 } 12.12.21
工学部	教授	宮下 尚	アメリカ合衆国	環太平洋国際化学会議 (Pacifichem 2000) に出席, 研究発表	12.12.14 } 12.12.21	

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
外国出張	地域共同 研究セン ター	教 授	城 石 昭 弘	ア メ リ カ 合 衆 国	環太平洋国際化学会議 (Pacifichem 2000) に出席, 研究 発表	12. 12. 14 } 12. 12. 21
	工 学 部	助 手	吉 沢 寿 夫	中 国	APIEMS-2000国際会議に出席, 研 究発表	12. 12. 18 } 12. 12. 23
	工 学 部	教 授	山 淵 龍 夫	中 国	APIEMS-2000国際会議に出席, 研 究発表	12. 12. 18 } 12. 12. 23
	工 学 部	助教授	廣 林 茂 樹	中 国	APIEMS-2000国際会議に出席, 研 究発表	12. 12. 18 } 12. 12. 24
海外研修	人文学部	助教授	岩 井 瑞 枝	フ ラ ン ス	16世紀版画に関する史料収集	12. 12. 1 } 12. 12. 7
	教育学部	教 授	西 川 友 之	タ イ	FIVB (国際バレーボール連盟) マネージメント・セミナーに出席	12. 12. 10 } 12. 12. 16
	理 学 部	教 授	清 棲 保 弘	フ ラ ン ス	1st French Meeting on Environ- mental Chemistry and Stable Isotopes に出席, 発表	12. 12. 11 } 12. 12. 17
	工 学 部	助教授	高 瀬 均	タ イ	First Asian Particle Technology Symposium (ATP2000) に出席, 研究発表	12. 12. 11 } 12. 12. 16
	工 学 部	助教授	星 野 一 宏	ア メ リ カ 合 衆 国	2000環太平洋国際化学会議に出席, 研究発表	12. 12. 14 } 12. 12. 19
	教育学部	教 授	原 稔	ア メ リ カ 合 衆 国	環太平洋国際化学会議に出席, 研 究発表	12. 12. 14 } 12. 12. 21
	工 学 部	講 師	小 野 慎	ア メ リ カ 合 衆 国	環太平洋国際化学会議 (Pacifichem 2000) に出席, 研究 発表	12. 12. 15 } 12. 12. 23
	工 学 部	教 授	熊 澤 英 博	フ ィ リ ピ ン	共同研究打合せ及び国際特許の打 合せ	12. 12. 15 } 12. 12. 18
	工 学 部	助教授	小 田 晃 規	ア メ リ カ 合 衆 国	環太平洋国際化学会議 (Pacifichem 2000) に出席, 研究 発表	12. 12. 15 } 12. 12. 20
	理 学 部	助教授	張 勁	中 国	「中国南部における大気環境」に ついて資料収集, 試料採取, 研究 打合せ	12. 12. 20 } 13. 1. 6
	教育学部	教 授	長谷川 総一郎	フ ラ ン ス	美術館教育に関する調査, 資料収 集	12. 12. 21 } 12. 12. 30
	経済学部	教 授	萩 野 聡	台 湾	東アジア行政法学会第4回学術総 会に出席	12. 12. 22 } 12. 12. 26

(外) (国) (人) (来) (訪) (者)

氏 名 (国 籍)	本国における 所属機関・職名	来 学 目 的	本学受入先	期 間
エマニュエル・オリピエ Emmanuelle Olivier	フランス国立科学研究 センター (C.N.R.S) 研究員	アフリカ熱帯森林住民の文 化保全と内発的發展に関す る研究打合せ	人文学部助教授 竹 内 潔	12.12.16 } 12.12.17

職 員 消 息

《住所変更》

部 局	職	氏 名
人 文 学 部	文 部 教 官 (教 授)	吉 田 俊 則
理 学 部	文 部 教 官 (助 手)	菊 池 万 里
理 学 部	文 部 教 官 (助 教 授)	飯 田 敏

《新任者住所》

部 局	職	氏 名
工 学 部	文 部 教 官 (助 教 授)	黒 澤 信 幸

訃 報

◎ 沢泉 重夫 名誉教授がご逝去されました

沢泉 重夫名誉教授（元教育学部）には平成12年12月23日午後10時53分ご逝去（89歳）されましたことを、お知らせします。ここにご生前のご功績とお人柄を偲び、心から哀悼の意を表します。

主 要 行 事

本 部		
12月1日	第10回教養教育検討特別委員会 第6回国際交流委員会留学生部会 推薦入学、帰国子女・社会人特別選抜合格発表（人文学部推薦入学を除く。） 第5回国立大学の設置形態に関する検討特別委員会 第6回富山大学の在り方に関する検討特別委員会 学内レクリエーション（卓球大会）	（メルパルクホール）
4日	事務局連絡会	15日 第10回部局長会議 入試関係打合せ 第12回評議会 第13回評議会（臨時）
5日	第3回自己点検評価委員会教育活動専門委員会 第22回運営会議 第3回広報委員会 第5回自己点検評価委員会管理運営専門委員会	18日 事務局連絡会 第8回大学教育委員会
6日	学生生活委員会ワーキンググループ検討会 セクシュアル・ハラスメント講演会 演題：セクシュアル・ハラスメントの防止のために 講師：佐藤 良治（財）21世紀職業財団富山事業所 雇用管理アドバイザー 第3回体育施設委員会 学長主催による外国人研究者及び留学生との懇談会	19日 第24回運営会議 事務職員啓発セミナー 第4回大学教育委員会教務専門委員会
7日	事務協議会各系列専門委員会担当課長打合せ 自動車運転手定期健康診断	20日 第6回入学試験実施委員会 第8回教養教育実施専門委員会 第12回教養教育検討特別委員会 第3回学生相談連絡会議 第4回自己点検評価委員会研究活動等専門委員会
8日	第5回総務委員会 全国就職指導ガイダンス（万国博ホール）	20～22日 ペーパー・クリーンアップ大作戦
9日	学内レクリエーション（バトミントン大会）	21日 学生の就職のための企業説明会 第9回学生生活委員会 学務関係職員打合せ
11日	事務局連絡会	22日 教職員組合学長面会 第7回国際交流委員会留学生部会 第6回国立大学の設置形態に関する検討特別委員会
12日	第23回運営会議 第8回事務協議会 三谷産業奨学寄付金目録贈呈・感謝状授与	25日 公務員採用試験等説明会 事務協議会事務局ホームページ専門委員会 教職員組合人事課長面会
13日	第13回セクシュアル・ハラスメント等対応委員会 第11回教養教育検討特別委員会 大学入試センター試験入試担当者連絡協議会	26日 冬季休業（～1月8日） 第7回富山大学の在り方に関する検討特別委員会 第9回富山大学の将来計画に関する検討特別委員会 第4回国際交流委員会 第4回自己点検評価委員会教育活動専門委員会 第6回自己点検評価委員会管理運営専門委員会 東海・北陸・近畿地区学生補導厚生研究会北陸地区部課長研究会（金沢大学）
		27日 第13回教養教育検討特別委員会

28日 仕事納め

人 文 学 部

- 12月 5日 学部国際交流委員会
 6日 学部将来計画委員会
 学部教務委員会・教務担当者合同会議
 学部教務委員会
 11日 学部入学試験委員会
 学部将来計画委員会
 学部国際交流委員会（持ち回り）
 12日 研究科小委員会
 13日 研究科委員会
 教授会（人事）
 教授会
 14日 学部情報処理委員会
 学部広報委員会
 18日 学部入学試験委員会
 学部自己点検評価委員会
 20日 学部国際交流委員会
 25日 学部入学試験委員会
 26日 学部教務委員会
 27日 学部将来計画委員会

教 育 学 部

- 12月 1日 附属養護学校避難訓練
 5日 教育実習運営協議会
 教育方法（FD）推進検討委員会
 平成13年度附属養護学校入学者発育検査
 6日 交通安全講習会
 附属養護学校合格発表
 7日 平成13年度附属幼稚園入園児発育検査（3歳児）
 8日 「総合的な学習の時間」に関する教育運営協議会
 平成13年度附属幼稚園入園児発育検査（4歳児）
 9日 教員養成大学・学部等教官研究集会
 11日 学部防火対策委員会
 12日 学部教務委員会
 附属幼稚園発育検査合格発表
 13日 研究科小委員会
 研究科委員会

教授会

人事教授会

附属幼稚園入園児第2次選考（抽選）

- 16日 新教育課程研究協議会（福井大学）
 18日 学部紀要編集委員会
 教育学部及び附属学校園共同研究プロジェクト運営委員会
 19日 学部国際交流委員会
 附属幼稚園第2学期終業式
 20日 学部消防訓練
 人事教授会
 「総合的な学習の時間」に関する教育運営協議会
 附属中学校及び附属養護学校第2学期終業式
 22日 附属小学校第2学期終業式
 25日 授業終了
 26日 人事検討委員会

経 済 学 部

- 12月 1日 第3年次編入学試験合格発表
 構内一斉清掃
 4日 人事基本問題検討委員会
 6日 学部教務委員会
 8日 学部国際交流委員会
 11日 研究科委員会小委員会
 12日 将来構想等検討委員会
 13日 学部国際交流委員会
 人事教授会
 研究科委員会
 教授会
 14日 3年生対象就職ガイダンス
 21日 学部入学試験委員会
 22日 高岡短期大学との単位互換協定調印式

理 学 部

- 12月 1日 生物学科外部評価
 ～ 2日
 6日 学部入試委員会
 インターンシップに関する懇談会
 7日 出前講義（県立氷見高等学校）
 8日 数学科外部評価
 11日 学部施設委員会

- 11～12日 学生特別健康診断
 13日 学科長会議
 理工学研究科博士前期課程理学部会
 教授会
 理工学研究科博士前期課程理学部会専任教授
 会
 人事教授会
 理工学研究科博士後期課程部会専攻長会議
 15日 生物圏環境科学科外部評価
 19日 学部自己点検評価委員会
 20～21日 地球科学科外部評価
 21日 物理学科, 化学科外部評価
 22日 理学部外部評価

工 学 部

- 12月1日 第51回国立大学工学部長会議・総会運営委員
 会 (大阪大学)
 5日 平成12年度防災訓練 (消火訓練)
 6日 学部自己点検評価委員会
 7日 平成12年度防災訓練 (救護訓練)
 8日 紀要委員会
 学部運営委員会
 11日 入学試験検討委員会
 12日 学部教務委員会
 13日 教授会
 専任教授会
 理工学研究科博士前期課程工学部会
 理工学研究科博士後期課程部会専攻長会議
 26日 学部教務委員会

附 属 図 書 館

- 12月18日 第2回運営委員会
 21日 第2回情報委員会情報基盤専門委員会

地域共同研究センター

- 12月13日 大学院生教育講座「北陸の雷について」

留 学 生 セ ン タ ー

- 12月11日 教育・研究フォーラム「日韓共同理工系学部
 留学生プログラムの現状と課題」
 講演Ⅰ「日韓共同理工系学部留学生受入れ事
 業－計画時点と現時点の比較－」
 (講師) 金沢大学留学生センター
 太田 亨教授
 講演Ⅱ「日韓共同理工系学部受入れプログラ
 ムの実施体制と課題－大阪大学にお
 ける体制を中心に－」
 (講師) 大阪大学留学生センター
 古城 紀雄 教授
 講演Ⅲ「日韓共同理工系学部留学生受入れ事
 業－進捗状況及び学生の配置等につ
 いて－」
 (講師) 文部省留学生課
 平田 公明 学部留学生係長

水素同位体科学研究センター

- 12月20日 放射性同位元素等による放射線障害の防止に
 関する法律第22条に基づく教育訓練

機 器 分 析 セ ン タ ー

- 12月1日 登録機器の管理責任者打合せ
 11日 第3回運営委員会

恒例の「外国人研究者・留学生との懇談会」

—今年はとやま自遊館で開催（12月6日）—



△（左上）留学生がこきりこ節のささら踊りを披露
 （右上）踊りを指導した越中五箇山麦屋節保存会関係者
 （左下）台湾留学生の歌と踊り
 （右下）マレーシア留学生の踊り

編集 富山大学総務部企画室 〒930-8555富山市五福3190 TEL. (076) 445-6029 FAX. (076) 445-6033
 印刷所 あげぼの企画㈱ 〒930-0031富山市住吉町1-5-8 TEL. (076) 424-1755 FAX. (076) 423-8899